

## エミさんのマンスリーレポート

ドイツには高校でアビトゥアという日本でいうセンター試験のような、大学進学のための試験があります。日本のセンター試験とは違って1日1教科で4～5時間かけて筆記や口頭で行うらしく、1教科受けた後はその次の教科のために2日間準備期間を与えられるそうです。ドイツで授業を受けていると本当に実力主義というか、結果がとても重視されていることは感じていましたが話を聞いていると本当に大変だと感じました。来月には留学が終わってしまうので自分もうかうかとしていられないと思いました。

私はドイツ語を日本で習っていたわけではないので、自分のクラス以外に12歳ぐらいの子のクラスを取っています。今月はそのクラスで前からしたいと思っていた日本の紹介をしました。先生にお願いして2時間あるうちの1時間を私の為に開けてもらって、パワーポイントを使いながらプレゼンテーションをしました。

ドイツの授業でもそうですが生徒は質問があればすぐに手をあげて質問するので最初はワタワタしてしまいましたが、担当の先生にも助けてもらいながらなんとか成功できたのかなと思います。興味を持ってくれたようで、授業が終わった後も質問を沢山してくれてすごく嬉しかったです。また、私はポストカードにクラス全員の名前をひらがなとカタカナで書いたものと折り紙をプレゼントしました。これもすごく喜んでくれて、先生方からも良いアイデアだと言って貰えて嬉しかったです。

私はまだ将来について確実な夢を決められていませんが、こんな風に紹介して喜んでもらえるような仕事ができれば良いなと思いました。

まだ機会があれば他のクラスでもできれば良いなと思っていますが、もうあと1ヶ月なので先生と相談になりそうです。でも、最初の頃は機会を設けること、というか紹介したいという事を理解してもらう事すら難しくかなり諦め気味だったのに、私の為に時間を取って貰えたことに本当に感謝しないとイケないと思うと同時に本当にとても嬉しいことだと感じています。

私は本当に周りの人に恵まれて、一度もホームシックどころか日本に帰りたくとすらまだ思っていないぐらいなので、もう残りが少なくなってきてすごく悲しいですがこの約一年の留学を少しでも悔いの残らないものに出来るように過ごしたいと思います。

### 英語でなぞなぞ

What can you never eat for breakfast?

(朝食では絶対食べられないものは?)

答えが分かったら SSH 研究推進部まで!